



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション
 コード番号 9385 URL <https://www.shoei-corp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート統括部長 (氏名) 稲谷 和樹
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6233-2636

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,803	10.3	76	△78.7	△465	△235.5	△574	△363.0
2022年3月期第3四半期	14,333	△7.4	359	△64.6	343	△65.3	218	△67.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △564百万円 (△513.1%) 2022年3月期第3四半期 136百万円 (△78.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△74.30	—
2022年3月期第3四半期	28.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	13,375	3,805	28.5	492.51
2022年3月期	12,793	4,524	35.4	585.55

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,805百万円 2022年3月期 4,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,442	16.5	685	289.0	664	261.5	422	373.5	54.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	7,850,000 株	2022年3月期	7,850,000 株
2023年3月期3Q	122,736 株	2022年3月期	122,736 株
2023年3月期3Q	7,727,264 株	2022年3月期3Q	7,727,740 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和されたことによる、人流の増加等経済活動は正常化に向かう一方、新たな変異株による感染の急拡大や、エネルギー、原材料価格の高騰、急激な円安による物価高騰、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等の影響に加え、年末にかけては感染症の第8波到来も懸念され、また12月の日本銀行の長期金利変動幅拡大を契機として夏以降の急激な円安基調に変化が見られるなど先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、原材料・物流コストの高騰、為替相場の急激な変動による輸入仕入価格の上昇、原油価格は供給不足から高止まりするなど、引続き厳しい状況が続く中、一昨年少会社化した株式会社ファインケメティックスの持つメーカー機能を最大限活用することに注力し、化粧品OEMを含めた付加価値商品の開発力、国内仕入調達力を活かした事業戦略を進め、また複合販売をさらに強化し、高収益を達成するための基盤作りに焦点を絞りを、企業価値を高め、成長を目指してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,803百万円(前年同期比10.3%増)となりました。利益面につきましては、原材料価格の高騰や為替の急激な変動による売上原価率の上昇により、営業利益は76百万円(前年同期比78.7%減)となりました。一方、年末にかけて為替相場が急激に円高に振れたことでデリバティブ評価損として628百万円を計上した結果、経常損失は465百万円(前年同期は343百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は574百万円(前年同期は218百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、全社費用の配分基準の見直しを行っております。それに伴い、以下の前年同期比較については、変更後の費用配分方法に基づいた数値で比較しております。

(営業促進支援事業)

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業を一層促進していただくために、企画から配送にいたるまで商品・サービスの提供、支援をする事業であります。経済活動の制限の緩和に伴い企業によるプロモーション活動や各種イベント需要は回復しつつあり、販促品キャンペーンを軸とする販売は微増いたしました。化粧品等のOEMにつきましては行動制限の緩和による充填案件の受注が増えてきており、売上については前述のとおり当連結会計年度には株式会社ファインケメティックスを子会社化したことに伴う売上や利益があったのに対し、前年同期には無かったこともあり大幅に増加いたしました。当社と株式会社ファインケメティックスそれぞれの工場で作業を行うといったことで相乗効果も発揮できております。また発送代行については環境の変化による通数の減少はみられたものの下期にかけて少しずつ売上は回復してきました。

利益面につきましては、充填やセット作業案件の増加に伴う自社工場の稼働率が上がったことが要因となり、セグメント利益額は増加いたしました。

その結果、売上高は7,995百万円(前年同期比17.2%増)、セグメント利益は274百万円(前年同期比60.2%増)となりました。

(商品販売事業)

当セグメントにつきましては、100円ショップやドラッグストア、小売販売店に対して、商品を企画提案し、調達し、そして提供する事業であります。100円ショップ向けは高額商品の投入や鮮度保持袋に代表される機能性の高いポリ製品を中心とした消耗品が好調であったものの、ヘアオイルなどの雑貨品が減少、新商品の投入も進まず厳しい状況でありましたが、原価が上昇する中、販売価格への転嫁を進めたことで売上は増加いたしました。量販店向けにつきましても行動制限が緩和されたことで衛生用品が減少するなど売上は減少いたしました。

利益面につきましては、原油価格の高騰による原材料価格の上昇、世界的なコンテナ需要の高まりによる輸入諸掛の増加、為替の急激な変動が大きな要因となり、セグメント利益額は大幅な減額となりました。

その結果、売上高は7,887百万円(前年同期比5.1%増)、セグメント損失は204百万円(前年同期は174百万円)

のセグメント利益)となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、物流倉庫の賃貸を行っており、売上高は12百万円(前年同期比33.3%減)、セグメント利益は5百万円(前年同期比57.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は13,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ582百万円増加しました。これは主に無形固定資産等が減少したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金や電子記録債権等が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は9,569百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,301百万円増加しました。これは主に賞与引当金や未払消費税等が減少したものの、短期借入金や長期借入金等が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は3,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ718百万円減少しました。これは主に利益剰余金等が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	878,987	1,270,891
受取手形及び売掛金	2,918,178	3,146,827
電子記録債権	609,776	838,853
商品及び製品	2,212,959	2,146,531
仕掛品	186,453	217,691
原材料及び貯蔵品	492,987	491,224
その他	261,387	226,640
貸倒引当金	△1,081	△1,065
流動資産合計	7,559,650	8,337,594
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,414,975	1,414,975
その他(純額)	952,814	943,129
有形固定資産合計	2,367,789	2,358,104
無形固定資産		
のれん	561,264	516,954
顧客関連資産	1,375,625	1,309,062
その他	104,410	75,797
無形固定資産合計	2,041,300	1,901,813
投資その他の資産		
その他	853,499	807,229
貸倒引当金	△29,044	△29,044
投資その他の資産合計	824,455	778,184
固定資産合計	5,233,545	5,038,103
資産合計	12,793,196	13,375,698
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,413,293	1,514,268
短期借入金	4,760,000	5,080,000
1年内返済予定の長期借入金	138,328	169,636
未払法人税等	44,084	35,744
未払消費税等	64,195	30,397
賞与引当金	117,365	77,476
その他	479,153	519,746
流動負債合計	7,016,421	7,427,269
固定負債		
長期借入金	355,374	504,718
退職給付に係る負債	75,114	69,975
長期末払金	144,212	137,022
その他	677,390	1,430,926
固定負債合計	1,252,090	2,142,641
負債合計	8,268,512	9,569,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,615	715,615
資本剰余金	807,752	807,752
利益剰余金	2,843,345	2,114,688
自己株式	△56,918	△56,918
株主資本合計	4,309,795	3,581,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,799	127,944
繰延ヘッジ損益	-	△12,850
為替換算調整勘定	90,089	109,554
その他の包括利益累計額合計	214,888	224,648
純資産合計	4,524,683	3,805,786
負債純資産合計	12,793,196	13,375,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	14,333,784	15,803,075
売上原価	11,293,214	13,006,126
売上総利益	3,040,569	2,796,948
販売費及び一般管理費	2,681,375	2,720,571
営業利益	359,194	76,376
営業外収益		
受取利息	138	483
受取配当金	7,881	27,212
為替差益	30,564	80,719
デリバティブ評価益	24,787	-
資材売却収入	3,161	3,402
債務免除益	18,274	-
その他	5,602	7,610
営業外収益合計	90,409	119,428
営業外費用		
支払利息	18,172	25,601
デリバティブ評価損	-	628,588
調査関連費用	86,476	-
その他	1,419	7,079
営業外費用合計	106,068	661,269
経常利益又は経常損失(△)	343,535	△465,463
特別利益		
固定資産売却益	327	9
投資有価証券売却益	-	3,739
特別利益合計	327	3,749
特別損失		
固定資産売却損	1,083	-
固定資産除却損	2,058	2
特別損失合計	3,141	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	340,720	△461,716
法人税、住民税及び事業税	94,018	75,848
法人税等調整額	27,091	36,546
法人税等合計	121,110	112,394
四半期純利益又は四半期純損失(△)	219,610	△574,111
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,327	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	218,282	△574,111

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	219,610	△574,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,194	3,145
繰延ヘッジ損益	△28,561	△12,850
為替換算調整勘定	△40,256	19,465
その他の包括利益合計	△83,012	9,760
四半期包括利益	136,598	△564,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,835	△564,351
非支配株主に係る四半期包括利益	1,762	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。